GC JOKER

アラクニド 10

村田真哉
いふじシンセン

SE

ISBN978-4-7575-4254-9

C9979 ¥571E

9784757542549

1929979005719

雑誌48129-65
定価：本体571円＋税

SQUARE ENIX

「巨針蟻（ディノボラ）」とついに戦うことになったアリス。「巨針蟻（ディノボラ）」の「集中力操作自在」という能力に危機を迎えるアリス…。ついに、アリスは「巨針蟻（ディノボラ）」に敗れてしまう。しかし、その時アリスの身に異変が。激闘の果てにアリスが見つけた一つの答えとは…。
「巨針蟻（ディノボラ）」編ついにクライマックス!!

## 【村田真哉】Shinya Murata

「真実を受け入れる事」
「現実に立ち向かう事」
これらが容易には為し得ない難題であるという
僕の深層意識が、「巨針蟻（ディノボラ）」というなかなか倒せない
強敵を生み出したのではないかと思っています。
あと「友達を作る事」も。

## 【いふじシンセン】Shinsen Ifuji

お手に取って頂きありがとうございます。
お陰様で本作も10巻目です。
まさか初連載で二桁数の単行本を出せるとは
思いもしませんでした。
読者の皆様には深く感謝申し上げます。
引き続きご愛読頂ければ幸いです。

ARACHNID
アラクニド
10
原作・村田真哉
作画・いふじシンセン

# Arachnid
# Contents


第45話　お望み通り本気でいきます　003

第46話　お前なんか友達じゃない　025

第47話　分かった　061

第48話　それが「蜘蛛（クモ）」の生き方　101

第49話　格好の獲物　141

日本

日本の学校には

あの

「セーラーフォース」みたいに

ものすごく強い女の子が

いっぱいいるんだ

そんな子とだったら

友達に

# 第45話：お望み通り本気でいきます

アラクニド
ARACHNID

CDF（シーディーエフ）…？

そう

日本語（にほんご）で
言（い）い換（か）えるなら…

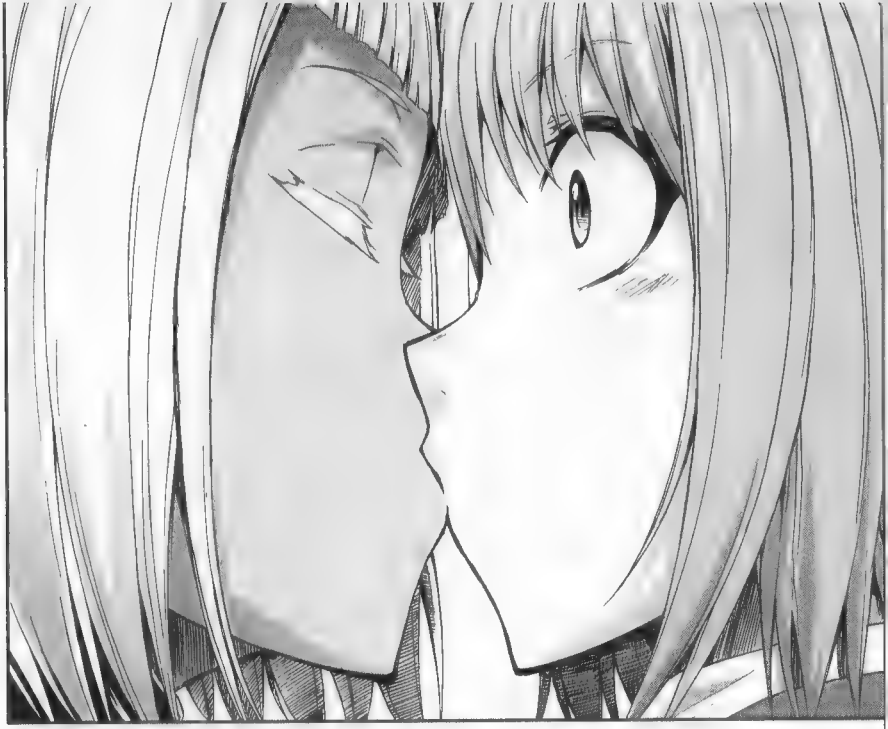
「集中力操作自在」
アリスの「先天性集中力過剰」みたいな
生まれ持った障害ではないけど
集中力を徹底的に鍛えたってところは
一緒だよね♡
……
た
確かに

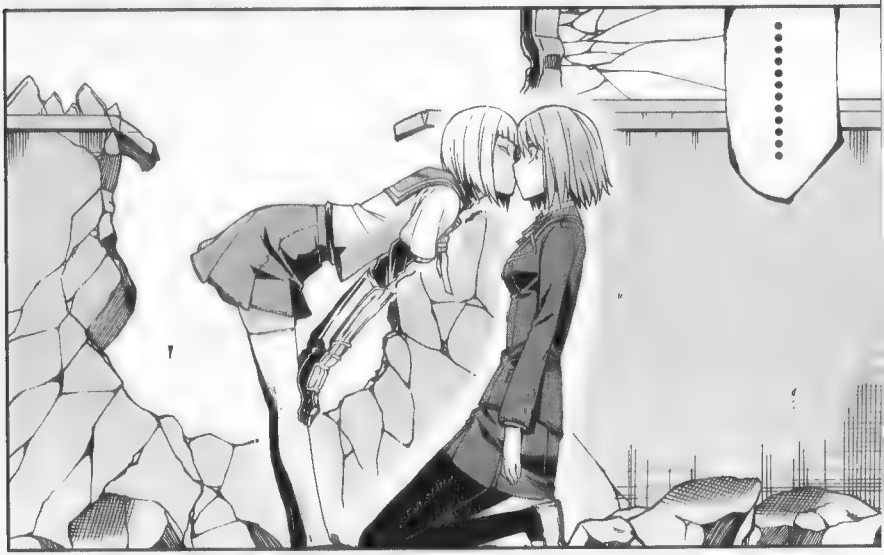
この子は
「先天性
集中力過剰」
が作り出す
「静止した世界」
の中でも

私と同じように
知覚し
私と同じように
動いた

私と同じ
能力…
いや
もしかして
それ
以上の…

チュル





ボーっとしてると
危ないよ？
こ
ここここ
この牝豚
アリス様の純潔を…

待って

今ので
分かったでしょう

本気で
闘らないと
一瞬で
殺されます

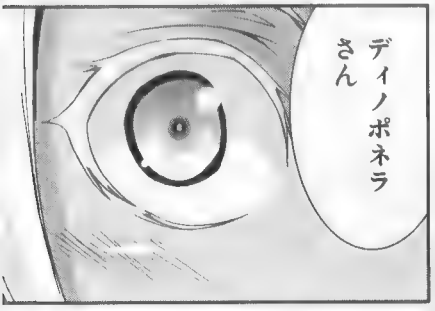
沖さんは
田嶋さんを連れて
今すぐ
校舎外に逃げて
ください

私も
後から向かいます
……
アリス様…
な

何言ってんだよアリス
私を護るのはお前の役目だろ
そんな奴さっさとぶっ倒して…
うお
ガ
ゴ

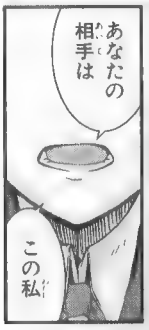
分かりましたわ
デコを安全な場所に逃がしたらすぐに戻って参ります
ちょ…
バッ

うお
ドガッ
ガッ


ディノポネラさん

フフ
逃げられると思って…

わ
名前覚えてくれたんだ
嬉しいな♡


あなたの相手は
この私!

お望み通り
本気でいきます

おい
何やってんだよ
アリスを虐殺しにする気か!?
うっさいですわね
足手まといになってるっていう自覚が無いんですの!?
あ
あれ
巨乳先輩は
どこに…
?
なんだアレ
なんかメモみたいのが
黒板に…

藤井さん
沖さんへ

田嶋さんも
とりあえず
無事な様ですし

私は一人で
学校を出て

とにかく人を
集めます

「組織」のすることに
警察が関与できない
ことは知っていますが

消防署でも
自治体でもいい

トラックに乗って
校舎に
突っこんでもいい

とにかく騒ぎを
起こして衆目を
集めれば…

このくだらない
ゲームを
ご破算にできる
はずです
む
無茶ですわ…
まだ校内に
「蟲」が潜んでるかもしれないのに…！
ヴ
ン

ハア
ハア
ハア
ダダダ

私一人
ボンヤリしてる場合じゃない

私が今すべきことは…

……

やっと動いてくれたわね

邪魔者のお陰で
少し手間取ったけど
すべての準備は
整った
これより
学校行事の
総仕上げに
入る

ARACHNID

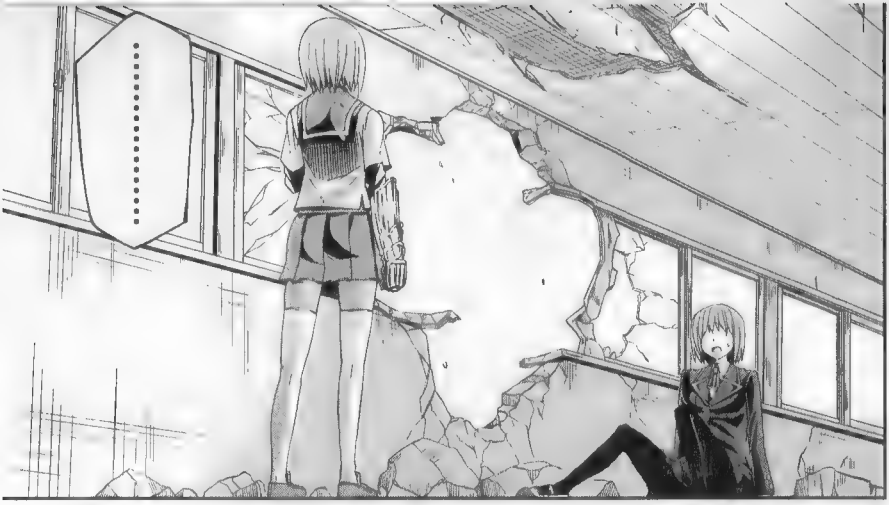
象と鼠の感じる時間は違う
巨躯である程時の刻みは遅く
矮小である程時の刻みは早い
人であろうとするな
一匹の蜘蛛となるまで
意識を集中し
鼓動を加速しろ
そうすれば…

# 第46話：お前なんか友達じゃない

ゴッ
ゴッ

ドオッ
……
とても
じゃないけど
「洗練されてる」
とは
言い難い
動き
攻撃も
防御も雑
「集中」の精度は
ともかくとして…
戦闘に
関しては
まったくの素人
と
見せかけて

密かに
罠を張って
反撃の隙を
狙ってる
こんな戦い方
初めて見た
ワイ
すごいね♡


……

駄目だ
完全に
見透かされてる

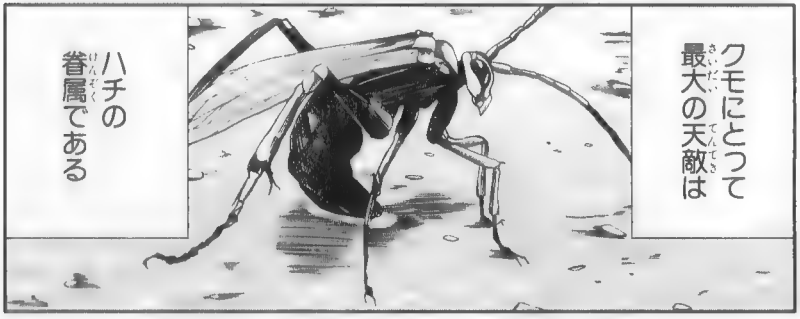
この子は静止した
「世界」の中を
私より速く
動けるんだ
違う能力なら
まだしも

同じ能力で上を
いかれてるとなると
どう戦ったらいいのか
分からない

ていうか
正直…

全然

勝てる気がしない



クモにとって最大の天敵は

ハチの眷属である

ベッコウバチ
ジガバチ
クモヒメバチなど
クモを専門に狩る種も多く

しかも策や術を弄するのではなく

最大の武器である攻撃力と機動力で

クモの罠を無効化してしまうのである

そして

これはあまり知られていないことだが…

「蟻」と「蜂」は

まったく同種の昆虫である

アリは分類上ハチの一種とされ

事実アリの方が

ミツバチなどよりよほどスズメバチベッコウバチに系統が近く

ネッタイオオアリのような毒針を有する種ともなれば

その攻撃性は更にハチと同義のものとなる

即ちハチ同様アリの眷属は

その能力において

蜘蛛の存在を
脅かす
最大の脅威
なのである
次は
こっちから
行くね
アリス
！
止まってると
殺される…

ま
まただ

急に身体が
重くなって
自由に
動けな…
は
ゴ!!

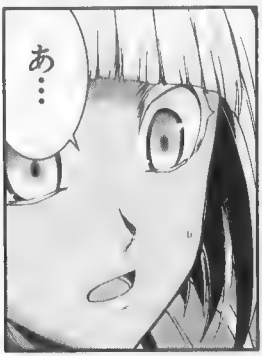
ズキッ
ぷお

ドオン
あはッ
ダッ
駄目だよアリス!!
「集中」しないと
「世界」から
放り出されちゃう…
よッ

が
……

がっは
がああああああああ

ぶうげ
ビシャ
うげェエエエエエエエ


あ…

ごめんね
ヒュー
ヒュー
アリス

身体に「糸」を巻いて防御してるみたいだから
そんなに痛くないと思ったんだけど…
ヒュー
ヒュー
ヒュー
顔やお腹を狙ったりしてゴメンね？
痛かったよね？
でもつい夢中になっちゃって…
エヘヘ
だってさ
初めてなんだもん
私と同じ境遇の女の子なんて♪
……
ゲホ
同じ
境遇…？

言わなくたって
分かるよ
こんな風に私と
「世界」を共有
できるなんて
二人は間違い無く
同種
きっと
アリスも…

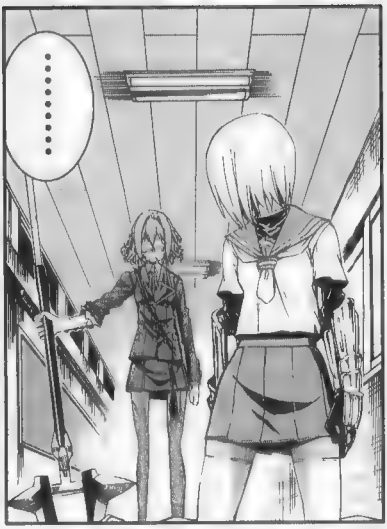
子供の頃から
ずうっと
戦場を駆け回って
きたんでしょ?
ねえ
アリスはどこで
育ったの?
やっぱ
イスラエルかな
それとも
フィリピン?
モンゴル?
……
いいえ…

私は
ゲホッ
う生まれてから一度も
外国には…
え？
日本じゃここ最近
戦争も内紛も無いって聞くけど…
あそっか
水面下では近隣諸国と戦争してるんだっけ
……
ハハ
それはよく分かりませんが…
私は一月前に急にさらわれて
無理矢理戦い方を教えられただけで
それまでは…

普通の女子高生でした
今もそのつもりですが…
……
アハッ
面白いねアリスは
嘘ついちゃダメだよいくらなんでも…
一か月やそこらでハァハァ
戦闘技術が身につくわけ…
二週間

藤井アリスが
「蜘蛛」に
殺しを
教わったのは
日数にして
14日間
二週間程度の
間だけよ

は
はは…


……

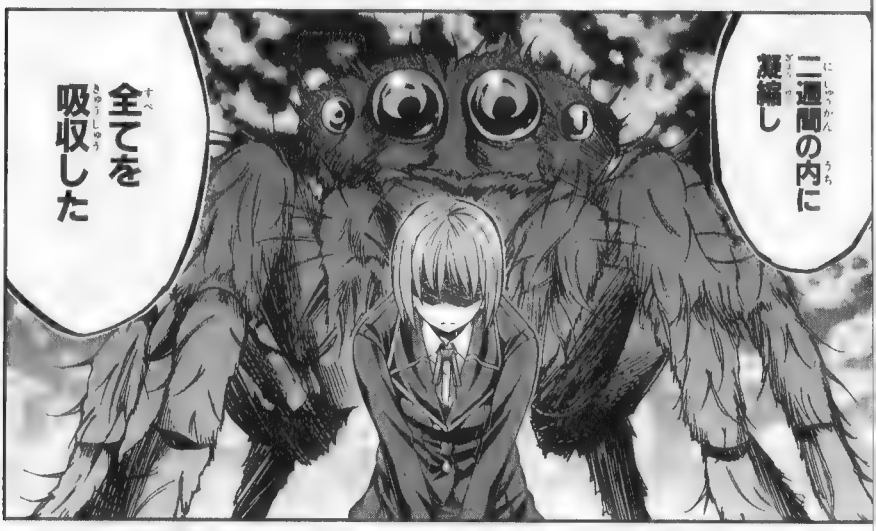
何言ってんの
そんなことありえな…
「先天性集中力過剰」

その本領は戦闘ではなく
学習

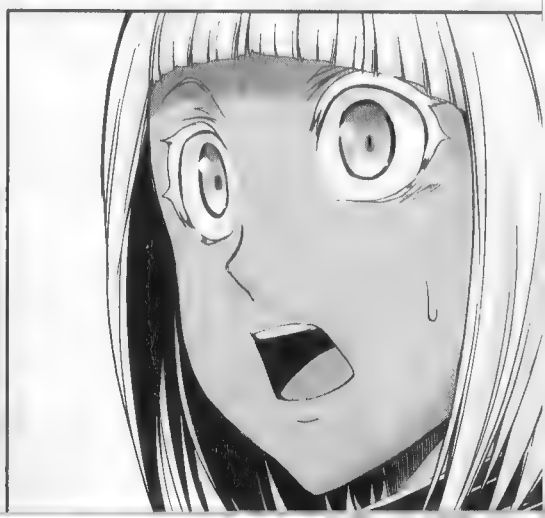
その子が本気を出せば

一秒で一時間を
一日で10年を学ぶことができる
その結果
60
55
50
45
40
35

アリスは
「蜘蛛」が30年の
人生で培った
膨大な量の
「殺しの手順書」を


二週間の内に
凝縮し
全てを
吸収した

そして今も
学習してる
無論



あんたの手順書(レシピ)もね
「巨針蟻(ダイノボキュラ)」
そ
そんな…
ありえない(マイミーターン)
ありえない(マイミーターン)
ありえない(マイミーターン)…
フン
「集中力操作自在(じざい)」だあ？
どんな技も通(つう)じないはずだわ
なんせ

ゆっくりと動く
時の中なら
自分が速く
動かずとも
最小の
動作で
最良の
行動選択が可能
まさに
怪物
悔しいけど
ここは
もう…
藤井アリスに
賭ける
しかない
あの時「蜘蛛」から
聞いた話が
与太話で
ないなら
あの子の実力は
ハア
この程度じゃ
ないはず
ハア

勝つのは
無理にしても

ガッ

五分に渡り合って
くれさえすれば

隙を突いて

今度こそ

成層圏外まで
ぶっとばす

しかし

抜かったわ

こんな奴がいると
知ってりゃ

「闘神角」を
持ってきたのに…

「兜角」は
対集団用の武装

一対一の戦闘には
向かない

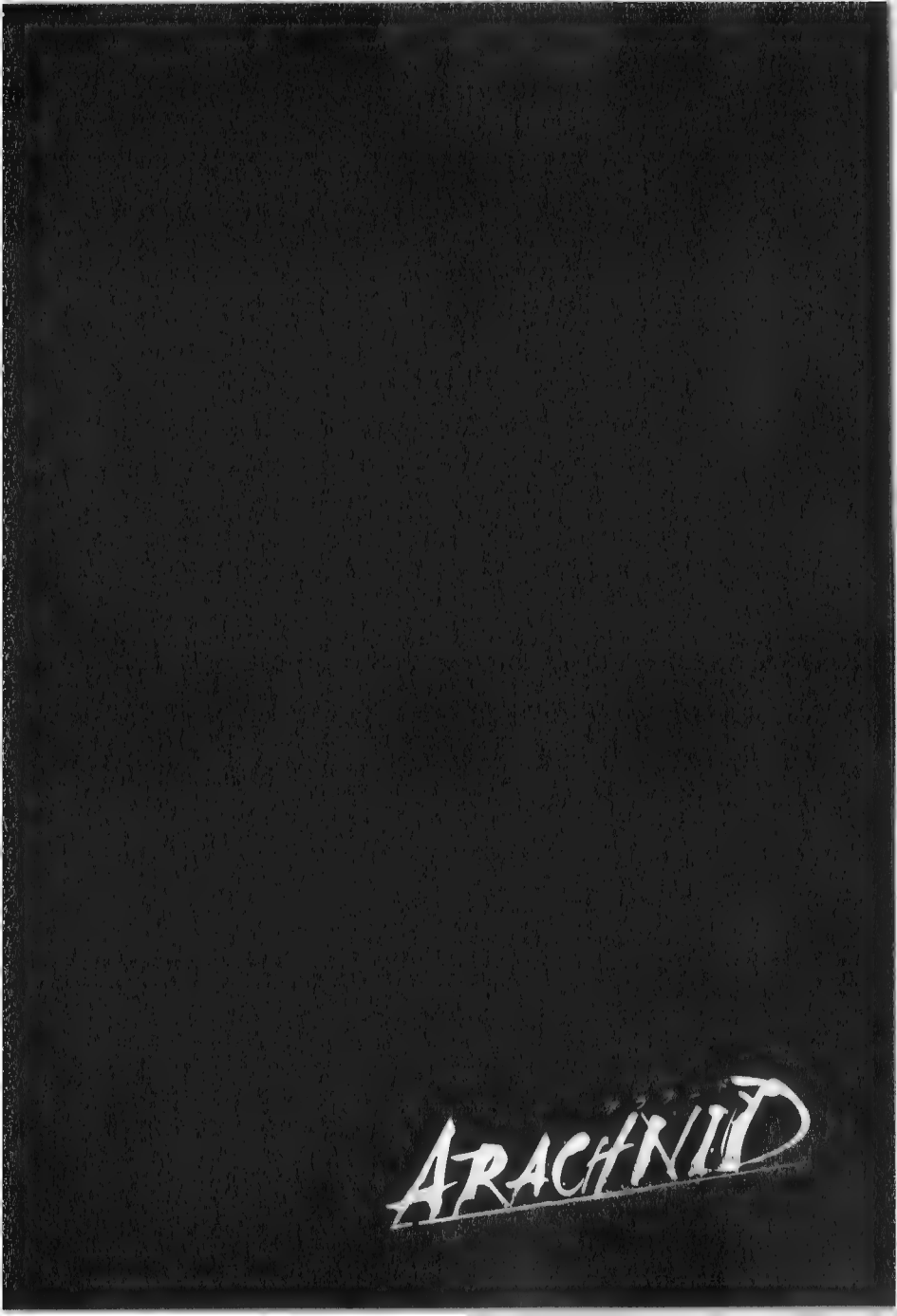
うぉ
ドゴ
ガガ
ガ
くっ
この…

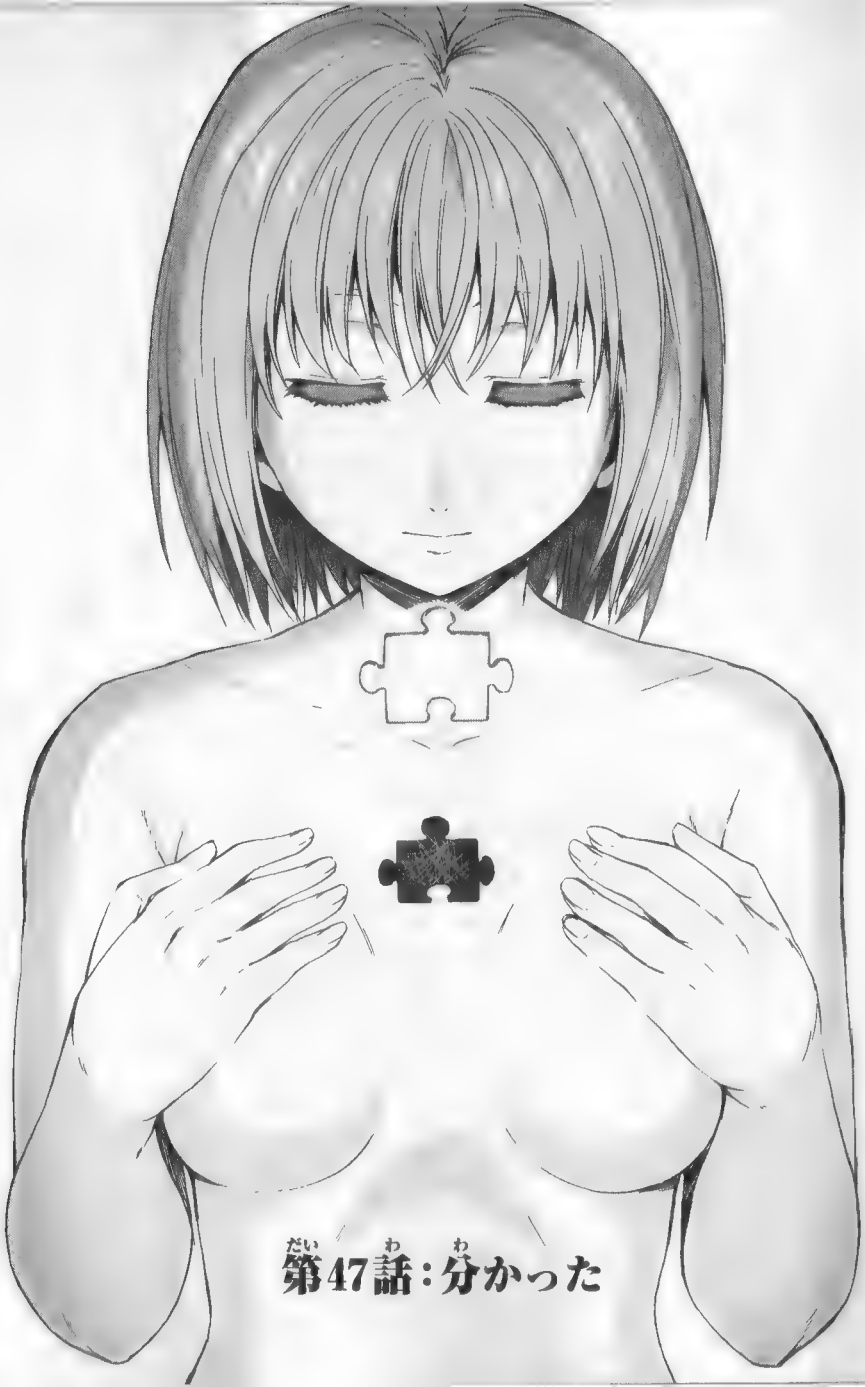
くッ…
ウグ

ぐッ
ぎィッ…
あなたは
見ていてください
ありえないってことを
証明してみせます
なんの苦労もせず
なんの対価も払わず
ご褒美だけをもらうだなんて…

神様は
そんなの
許さない
認めない
ありえない
ありえない
ありえない
ありえない
……
藤井
アリス

お前なんか
友達じゃない


ARACHNID



# 第47話：分かった

「針蟻」は

銃では
殺せない

タイ国境付近の兵士や
盗賊の間で囁かれて
いた噂である

奇妙な歩法でまるで
銃弾をかわすかのように
動く彼の存在は

魔物が如く
恐れられていた

無論実際に
弾丸を避けている
訳ではない

これまでの人生で培った
膨大な量の戦闘データが

弾道の予測を可能に
しているに過ぎない

しかし

まだ
幼い娘には
そんな芸当が
できるはずも無く
チュン
チュン
父の姿を追うこと
だけで精一杯
注意深く観察し
動作を
完璧に真似る
彼女にとって
ゴクリ
そうする以外に
生き残る術は
無かった
ギ
だが
ある日

それも
限界がきた
ふとした
気の緩みから
父の姿を見失った
彼女の■■は

いつの間にか
無数の銃口が
取り囲んでいたのだ
まだ戦闘経験の
浅い彼女にも
それが
絶望的状況だと
すぐに
理解できた
だが認められ
なかった
認めたく
なかった
密林の野盗に
捕らえられた
女子供が

どんな運命を辿るのか
父からよく聞かされていたから
ドクン
絶望することから逃げるかのように
少女は
集中した
「なんでもいい」
と
「なんでもいいから」
ドクンドクンドクン
生き残るための情報を探した

月の位置
風向き
敵の表情
光源
姿勢
着衣の乱れ
湿度
人数
人種
気温
気圧
木々の揺れ
空気の流れ
武器
種類
微粒子

絶望のただ中
藁にもすがる想いで
集中に集中を重ね
希望を探した
すると
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン

時が止まった

ハァ
ハァ
……
ソイヤ
娘は
理解した
ドド
これは
生まれ出でて
9年間
ガチャ
一日も休む
こと無く
戦い続けた
自分への

神様からの
ご褒美
厳しい試練を
乗り越えた者
だけに与えられる
特別な
能力
そう思ってた
そう
思ってたのに

はぁ
はぁ

この子は
ズルしてる

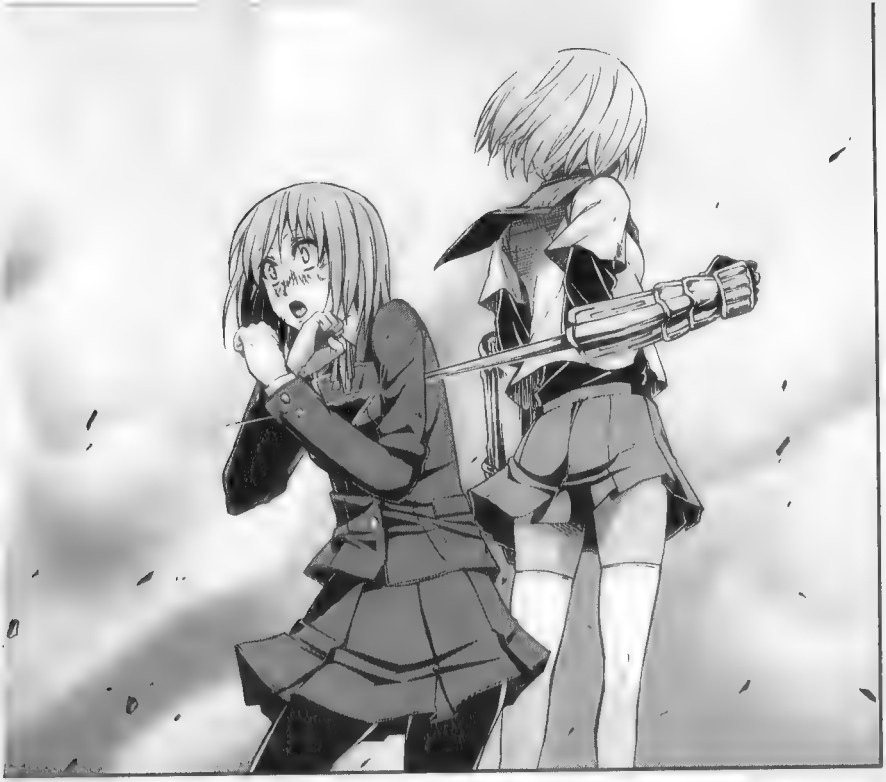
藤井アリス

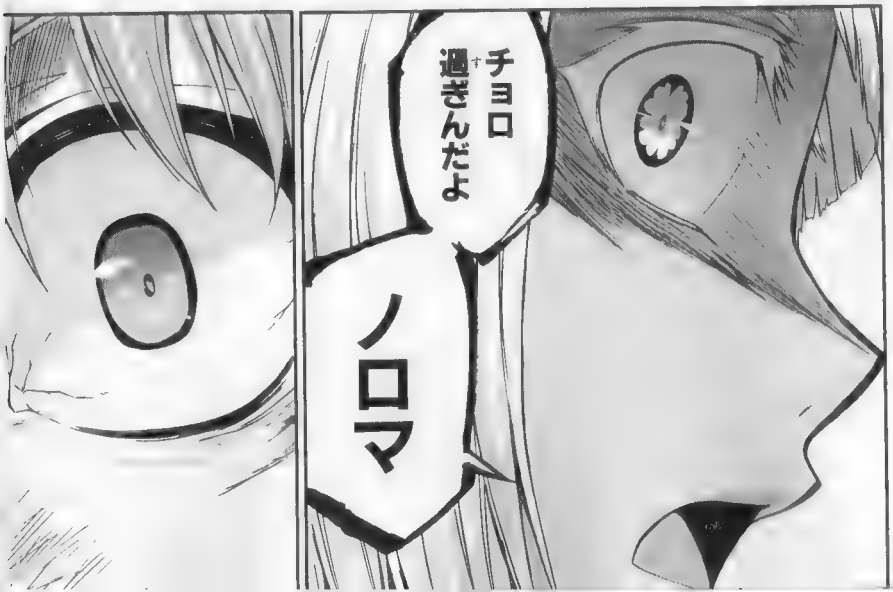
こんな
平和な国で
生まれ持った
才覚だけで

たった
二週間の
訓練だけで…

……
許さない

お前なんか
友達じゃない
!!
来る…
バ
バ




ノロマ
チョロ過ぎんだよ

ひ
ぎあ・・・
な
何コレ
何
何も

何も考えられないくらい

ぎゃあああああああ

痛い

ひぎぃあああ

ああああああああああ

ドオ

あああああああああああ

まだだ

あ
……
ガッ…
う
うぐ
バタ
バタ
あぐ…
手足だけを狙った
簡単には殺さないよ
ん？

う
ぐ
ううう
ジョオオオオ
あはははははは
何こいつ

もらしてやんの
傑作
あはははははははは
……
う
い
痛いよ…

痛いよ
お母さん

どこにいるの？
痛いよ
お母さん

もうやだ
もう
お家帰る

……

駄目だ
本気を出すどころか…

完全に
戦意を失ってる

フフ
たまにいるんだよね

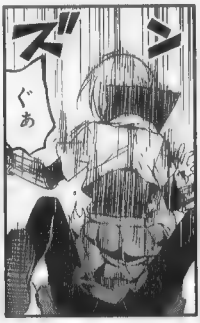
あまりの痛みに耐えかねて
幼児退行しちゃう奴

あーあ
なんかいろんな意味で

ガッカリだ…

わッ

ハーイ
アリスちゃん


ン
ズ
ぐぁ

あう
ドカ

痛みを
和らげて
あげましょう
ねー♡

あはははははは
出れた

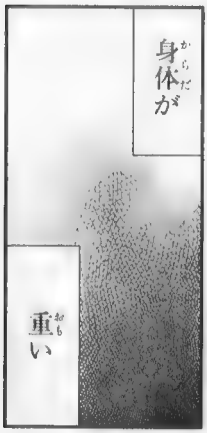
あはははは
……
ドゴ
ドゴ
あはははは
ドゴ
くそッ
ドゴ
あの野郎
いたぶり殺す気か…
ドガガ
あれ…

私今
殴られてるんだ

避けないと

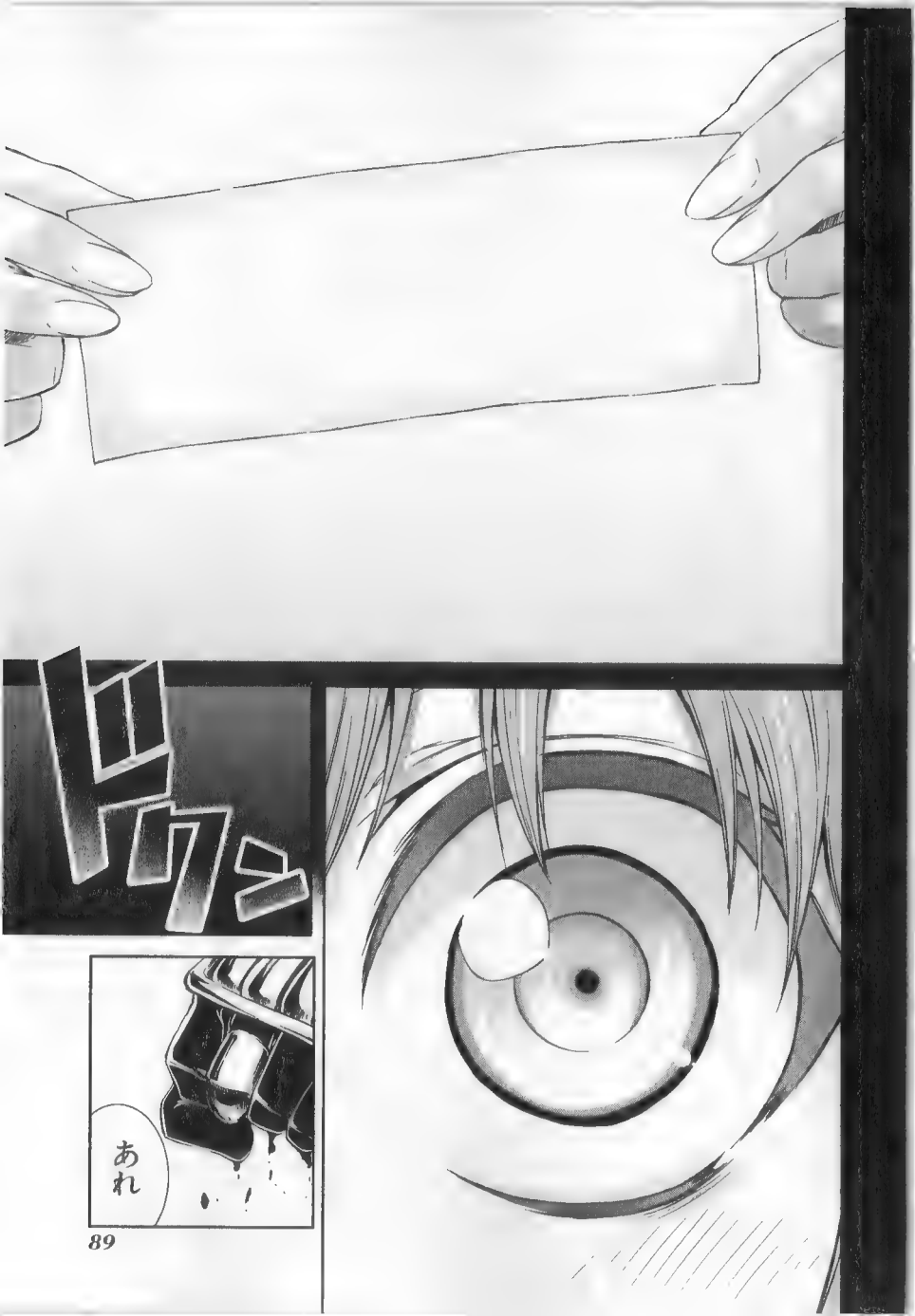
このままじゃ死んじゃうかもしれないし
でも

手足が痛くて動かない
それにやっぱり


身体が
重い

なんでこんなに…
一体どうして？
ていうかそもそも
なんで私が
こんな目に？
原因は必ず自分にある
あなたには聞いてない
私はお母さんに聞いてるの
アリス

何
お母さん
アリス
いいもの見せてあげる
これ
なーんだ


ドクン
あれ

全然
動かなくなっちゃった
まいいか
だいぶ気分も晴れたし
ふぁ
もういい加減飽きてきたし…
おい

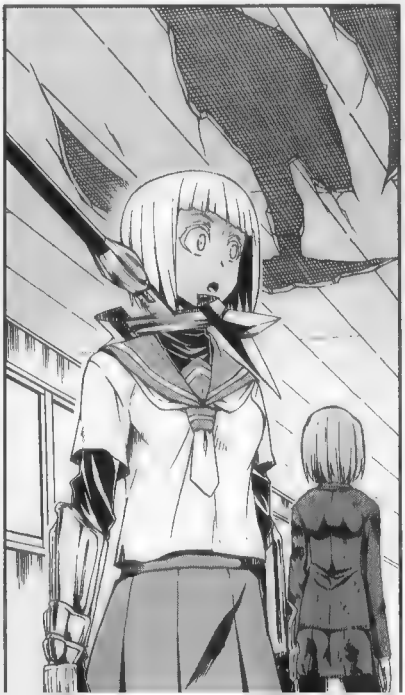
まだ終わってねえぞ

立て
第2ラウンドだ

あ
まだいたんだ
この痛みにもだいぶ慣れたわ
次は殺す気で行くかんな
クソガキ
手加減してくれてたんだ
本当かな?
まあどっちにしろ…
ちょっとだけ待っててくれる?
今こいつ殺すか…
ら

あれ？
藤井アリスは
どこに…

……
分かった

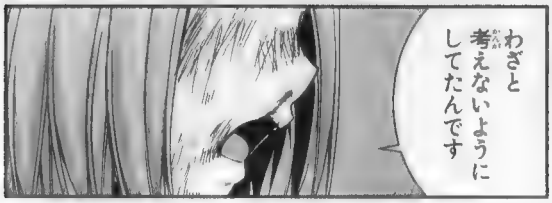


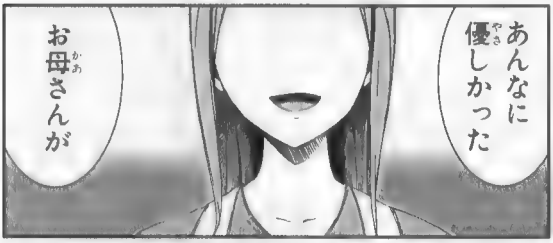
え
ちょっと…

ねえ
今時間止めた？

そんな訳無いよね
だって

あんなダメージで
「集中」する余裕なんて
あるはずが…


わざと
考えないように
してたんです


あんなに
優しかった
お母さんが

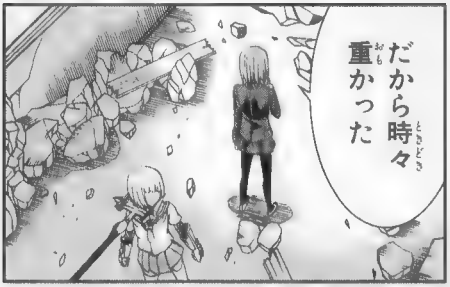
どうして
私一人置いて
自殺なんか
したのか

その理由を
考えるのが
あんまり
辛くて
悲しくて…

何
なんの話？

でも

身体は
ちゃんと
分かってた

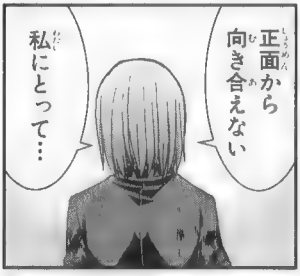

だから時々
重かった

理不尽な理由で
命を狙われて

「なんで私が
こんな目に」
そう思う
たびに

生徒手帳の中に
挟んであった
コレが

現実から
目を背け
自分自身の
問題に対しても


正面から
向き合えない
私にとって…

ずっと
ペット抱擁券
重荷(おもに)
だったんだ

ARACHNID

# 第48話：それが「蜘蛛」の生き方

6か月前
市立桜樹中学校
藤井
おい
藤井
藤井
シカトしてんじゃねーよ
あ…

藤井はさあ
東京ドリームランドのアトラクションで何が一番好き？
えっと
あの…
あ!?
聞こえねーんだけど
私
遊園地とか行ったこと無いから…
プッ

ギャハハハハ
な!?
書った通りだろ
マジで!?
そんな人間いんのかよ
だっせえええええ
ウッソーありえなーい
私TDLだけでも10回以上行ってるんですけど
普通そんくらい行くよねー
いくら友達いないからって
子供の頃親とか親戚に連れてかれるっしょ
あーだよね
ねえなんでなんで
しっ聞いちゃだめだよ
だって藤井さんちって…

超――オ
貧乏なんだから♡
えーじゃあ海外旅行とかも行ったことないんだ
信じらんない
カワイソー
なんか制服もいつもヨレヨレだしね
ねえ
なんかこの辺臭くね？
ちょっとやめてよー
貧乏過ぎて洗濯もできないワケ!?
キャハハハハハハ
3年間一度も洗ってないとか!?
もオー最低エー
あっち行けよ
大丈夫

この程度じゃ

泣かない

馬鹿にされるのは慣れてる

仕方が無い

だって家は

本当に貧乏だから

家にはお父さんがいない

私が生まれる前に蒸発してしまったらしい

だからお母さんは昼も夜も無く毎日働いてる

金銭的にも
時間的にも

余裕なんて
無い

それも
これも

女手一つで

私を
育てるためだ

だから
私には

何も言う
権利が無い

「私の気持ちも
考えてほしい」

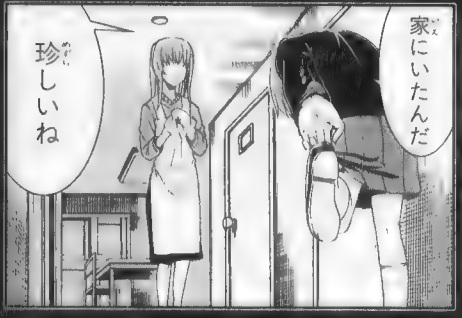
そんな
こと

言える訳が…

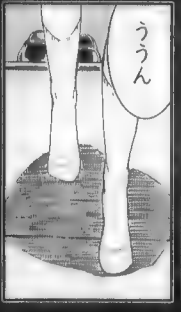
お帰り

アリス

お母さん…


家にいたんだ
珍しいね

元気無いわね
どうしたの
何か嫌なことでも
あった？


ううん

別に
なんでもないから…
……
大丈夫
別に大丈夫
別に
辛くない
アリス

ちょっとだけ
いい？
何
お母さん
フフ
ちょっと気が早いけど…
明日はアリスの誕生日よね？
あ
そうだった
すっかり忘れてた…
いいもの見せてあげる

これ
なーんだ
12
え
それ
どうしたの
誕生日
プレゼント
ドリームランド
お母さん
忙しくて
アリスをどこにも
連れてってやれない
から

今度の休みにでも
お友達と行っといで
……
いつも苦労かけてごめんなさい
でもね
December
私が頑張れるのは
あなたがいてくれるおかげよ

ありがとう
アリス
駄目だ
これは駄目
これは…

泣く
ギュ
ドア
ガラ
お母さん

お母さん
お母さん
私の方こそ
迷惑かけて
ごめんなさい
苦労させて
ごめんなさい
私
東京ドリーム
ランド
お母さんと
行くから
それまで
元気でいて
ずっと
元気でいて
お願い
お願い…
分かったわ
私達…

ずっと
ずっと一緒(いっしょ)よ
アリス

間違ってた
お母さんは
ずっと
ずっと
私の気持ちを
考えてくれて
たんだ
その翌日

お母さんは

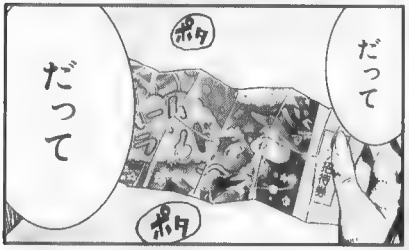
自殺した

昨日の約束なんか
まるで無かったかのように
私一人を残して
あまりにも
あまりにも突然に…
このチケットはお母さんの形見として
ずっと持ってた

お母さんが死んだのが
あんまりショックで

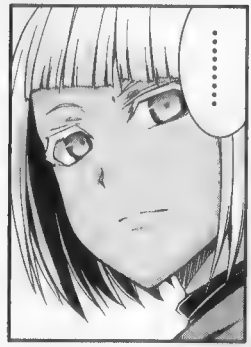
前日のことなんか
記憶から消し飛んじゃってたけど

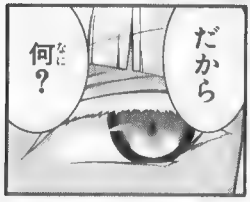
ずっと何かが引っかかってた
でも
考えてみればあたりまえ


だって
だって
ポタ
ポタ

自殺なんて

するわけ
ないから


……


だから
何？

遠くに
行っちゃうなんて
ありえない
から…

いい年して
お母さんが
どうとか
さっきから
ブツブツ
ブツブツ
バカじゃないの？

やっぱりコイツ
超ムカつくから
先に
殺してもいい？

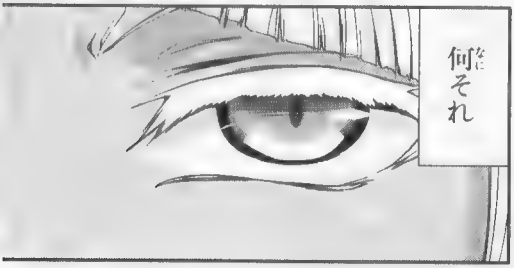
ブン

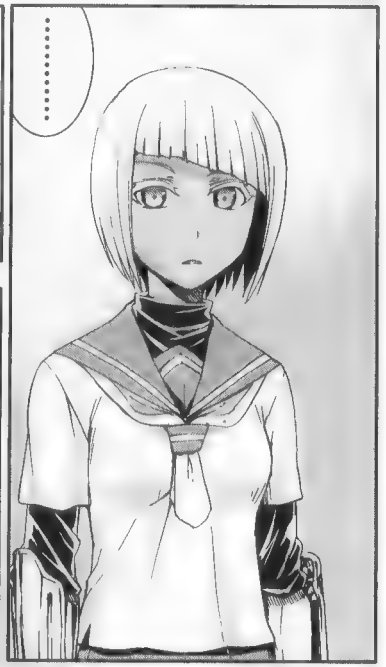
どうしたの
闘んないの？

え？

もう
いいわ
私の出番
無いみたい

あんた
もう
「学習」
されちゃったわよ


何それ


……

私の
「集中力操作自在」は
神様から授かった
特別な能力

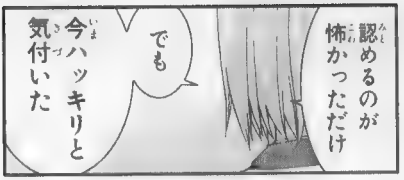
盗んだり
真似したり
するなんて

そんなこと
できる訳が…

ドン
な
何(なに)コレ
……
バッ

ありえない
こいつ
「静止した世界」の中を…
体どうやって
私より速く…!?
私が
「組織」に狙われてるのは

社会的弱者だからとか
叔父さんの借金のせいだとか
その類の「偶然」なんかじゃない


でも
今ハッキリと気付いた
認めるのが怖かっただけ

殺そうと思えば
すぐ殺せるものを

母を殺し

叔父を殺し
居場所を奪い

友達を狙い
ゲームに巻き込み
殺すというより苦しめることを目的にしてる

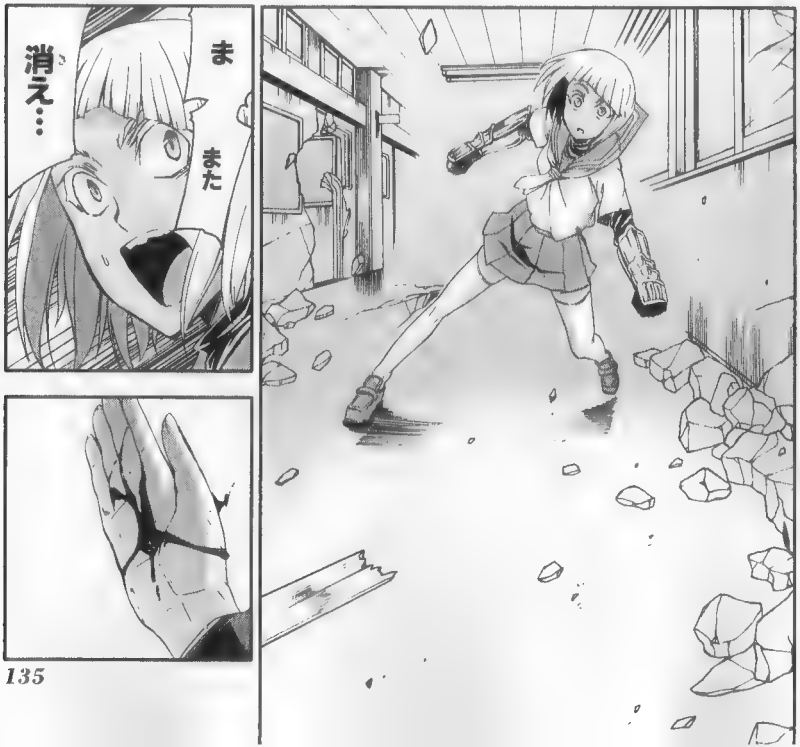
つまり
私個人を
心底憎み
私個人を
標的とした
「私の敵」が
確実に
存在する
だから逃げる
だけじゃ駄目
私がこの先
生きるためには
そいつを
見つけ出し

殺すしかない

は…
何その目つき
いくら凄んでも無駄無駄
実力差は歴然
あんたの得意な「集中力」だって
私の方が

断然
上だッ

ほらね
私の動きを
ちっとも
追えてない
完全に
死角を
取っ…


また
また
消え…

うえぶッ

邪魔をするなら
あなたも殺します
あう
ドン
オ
敵がどれだけ強くても
どれだけ多くとも
意のままになりはしない

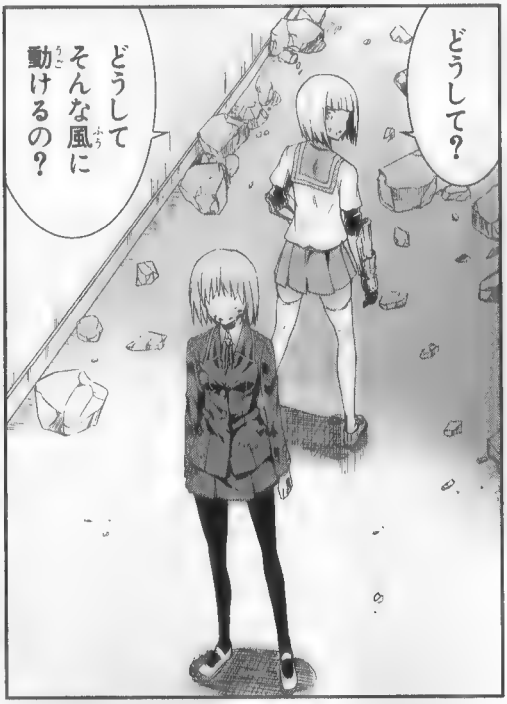
「個」を護るために戦う
それが
「蜘蛛」の生き方

ARACHNID

学習？
学習だって？
ありえない
こんな短時間で
私の技を盗んで
私の速度を超えるなんて
そんなこと…

# 第49話：格好の獲物

マ
マイミー
ターン…


どうして？
どうして
そんな風に
動けるの？

まさか本当に
「■中力操作自在」を
使えるようになったとか…
そんな訳
無いよね？

ヒントは
最初から
出てました

「ゾウの時間とネズミの時間は違う」
「蜘蛛」さんに教わった基本中の基本
生物は
心臓の拍動回数によって
時間感覚が異なる
「先天性集中力過剰」は心拍数の異常増大により
感覚が暴走する疾患
私の場合
自分が制御不能になるのを恐れ…

集中状態に入れば
あとは沈静化
努めて冷静に
元の状態に戻るため心拍を抑えてる
でも
あなたは逆
意識的に興奮状態に陥り
更に赤熱化
心拍を制御することで
「集中力」の精度を高め
より長くより深く
「静止した世界」に留まることができる

それが
「集中力操作自在」の正体

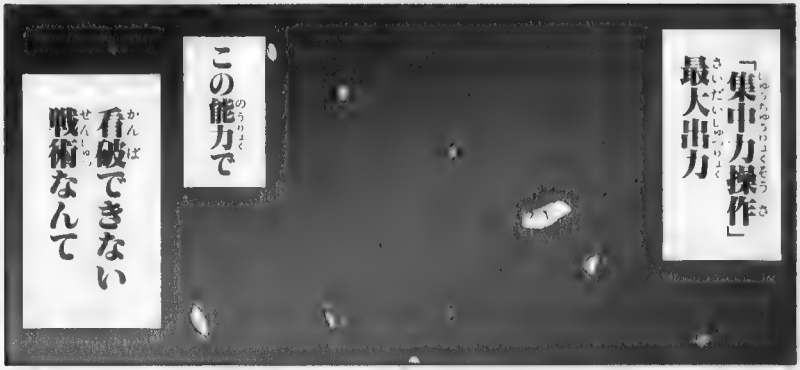
私にとって到達点だった所が
あなたにとっては唯の通過点

本当にすごい能力です
でもそれだけに

能力に依存しすぎてます
ハッキリ言って

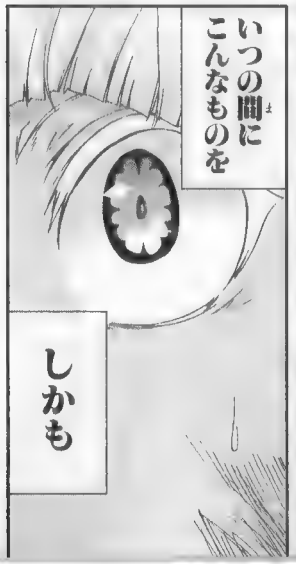
あなたの戦術は単調です
「蜘蛛」にしてみれば
もっとも罠にかけ易い
格好の獲物
……
フン
言ってくれちゃうね…
ドクン

見極めてやる


「集中力操作」
最大出力
この能力で
看破できない
戦術なんて

あるはずが無い

糸


いつの間に
こんなものを
しかも

普通の糸じゃない

一本をほぐして放射状に拡げた糸

「見えにくい」

そうか

私がこれにかかる瞬間

あいつと私の位置が

自動的に
反転する
仕掛けか

こんな罠が
あるなんて
こんなの
まるで

私を
標的にした
ような…

「高速移動する
昆虫」を
専門に捕食する
クモが存在する

オウギグモ
本州・四国・九州以南に分布
その名の通り扇状に拡げた網を張ることで知られる
糸の端を持ったまま待機し
自身も罠の一部と化す
そして 獲物がかかった瞬間
その飛翔力と反動を利用し
跳躍

そのまま
包み込むように
捕獲する

この特殊な
「三角網」は
糸の強度を高め
より速く
より大きな獲物を
捕らえるのに特化した

対「強敵」用の
罠なのである

ギュッ

アハッ♡

なァーんだ…
そういう
カラクリね
ちょっと
ビックリしたけど
つまり
私より速く
動ける訳じゃないんだ
てっきり
あんたも
「集中力操作自在」が
使えるようになった
のかと思っちゃった
そんな訳
無いよね？
ええ
試しにやって
みましたけど

あまり長くは
持ちませんでした
た
試しに…
やって
みた？
あなたを
超えるには

あと
2
3日は
訓練しないと…
に
2
3…
ははは…
ははははは
ハッキ
安心しろよ
お前には
3日後どころか
明日だって
永遠に
来ねぇから

あ？
あ
あ
あ
ぎッ

ぎゃあああああ
あああああ

痛い
痛いいいいいい

あう
はウッ
ビクッ
ぐぎッ
ぐウウ
ジョオオオ オオ
うぎィ
ぎイイイイ
イイイイ
バタ
バタ
あぐ
な
なんで…
ぬ
抜けない
針が
抜けない
い…

糸が
身体に絡まって…
ギッ
ギギギ
な
何これ
何これエエエエエ!?
一度だけでよかった

たった一度
糸に絡まったことを
あなたが気付かなければ
あとは
動けば
動くほど
自動的に
絡まり続ける
今では
もう
あなたを完全に
操るだけの
捕縛が
完成しました
針を抜く
ことも
逃げることも
自由にのたうつこと
すらできない
これが
「蜘蛛」の…

「蜘蛛糸傀儡（マリオネッタ・デ・ラーニョ）」

……

いつから
張り巡らせて
いた？
この
無数の糸

あの時から？

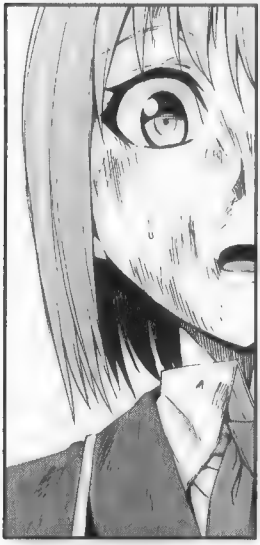
いや
それとも
あの時？

もしかしたら
最初から…？

だめだ
意識が
朦朧として
考えが
まとまらない

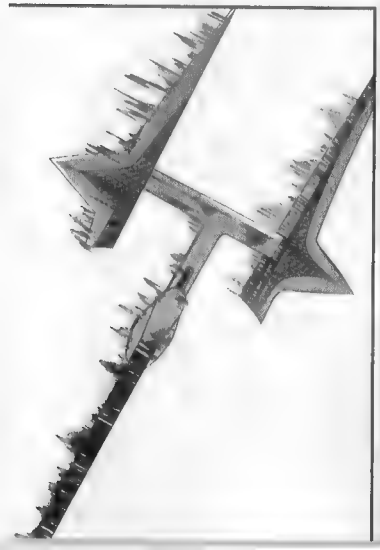
一体
どう
すれば…
も

もう
許して…

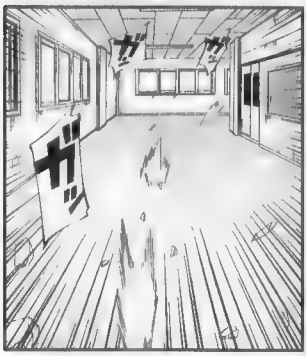


と
友達が
欲しかっただけなの…
お願い
殺さないで…
……
なるほどね

「静止した世界」から放り出されりゃ
ただの子供
まともに闘った経験が無い分むしろ
痛みには弱いみたいね
……
この人はおそらく駒
私の「敵」ではないと思います
殺すのは可哀相かもしれません
今後危害を加えないと約束するなら…
油断すんな
アレが来るぞ
え



ガッ
ち


ガ
ガ
ガッ

フン
ボゴ

ありえない
(マイミーダーン)
ありえない
(マイミーダーン)
ありえない
(マイミーダーン)

逃がしたか…

集中が途切れて捕縛が緩んだ
一瞬の隙を突かれたわ

油断するなっつったろ？
はいすみません

でも…

逃げてくれてよかったです
もうこれ以上は戦えません
危ない所でした…
そう？
余裕そうに見えるけどね
私でさえあの毒に慣れるのに
だいぶ時間がかかったわ
見かけによらずタフなのね
そう見えるならよかったです
本当はもう
立ってるのすら
辛くて…
ゲラ

え
ちょ…

ちょっとあんた
大丈夫(だいじょうぶ)…

!?

こいつ

「白針蟻（ヴァンパイア）」だけじゃなく

自分で
自分を
操ってたのか

三角網の罠
それに伴う移動
敵の操作
自分の操作
それら全てを

指先の動き
だけで
制御してた
ってのか

こいつ
体何重の
罠を張ってやがる

おそらく
今も…

なんらかの罠で
私の攻撃に
備えてる

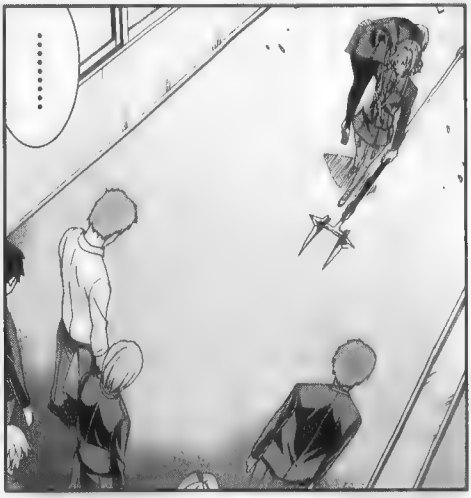
フン
「蜘蛛」から
あらかた聞いちゃ
いたけど

聞きしに勝る
化け物ね

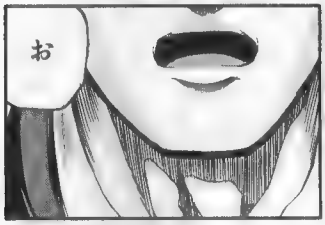
あ
あなたは
本当に
「蜘蛛」さんに
頼まれて…？

ゲ
ン

思い出話はあと
とりあえず
さっさとここを出るわよ
いいわね
は
はい…！
ん？

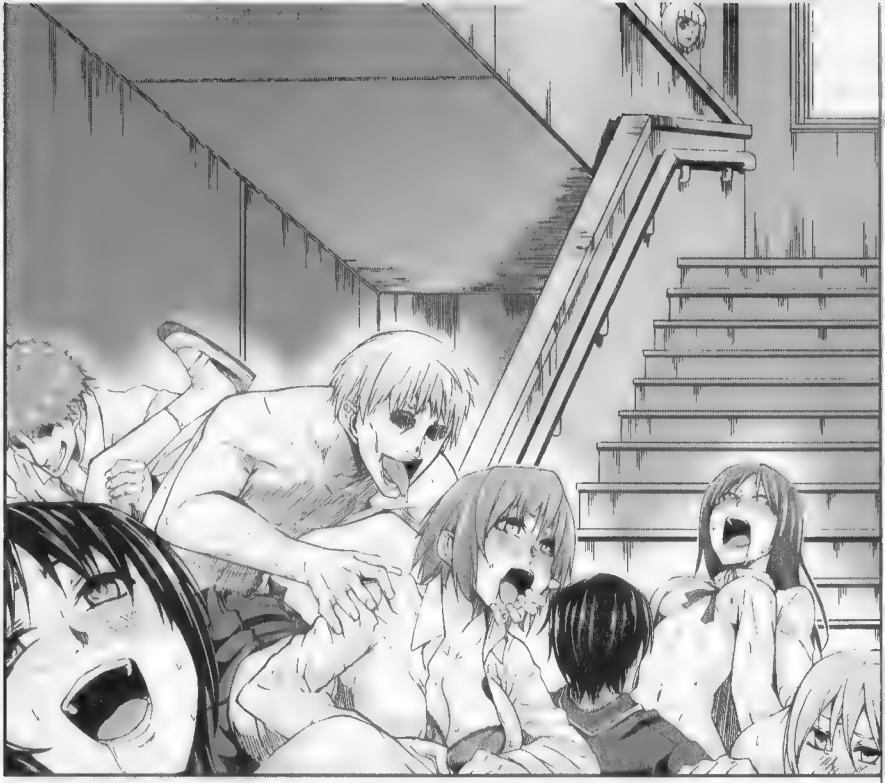

……

なんだ
こいつら


お

女
女
女
女
女
まだ
手つかずの
女…

な…



なんなのこいつら
汚(けが)らわしい…

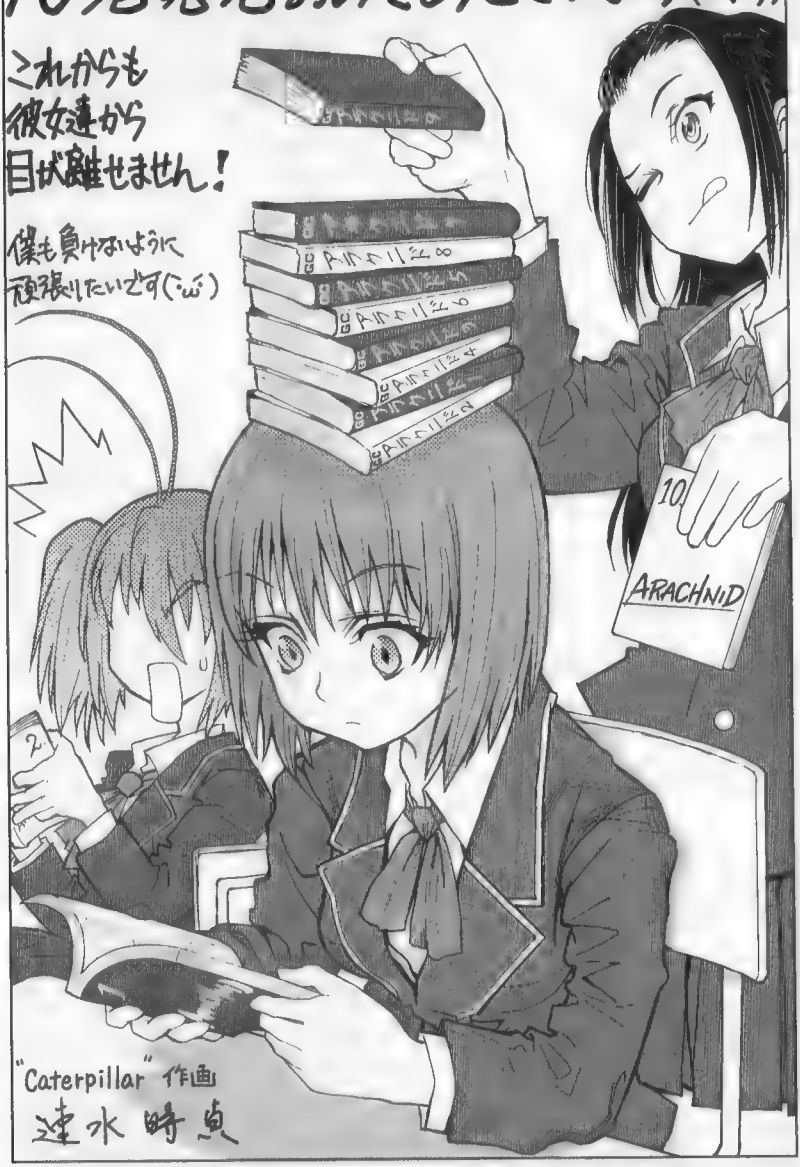
日本人は慎み深い民族だって聞いてたけど
全然違うじゃない
そう？
ありえない
何もかもありえない
最低な国
私はこういうの
嫌いじゃないけどね
誰？
はじめまして

私の名は
「蠍」
アラクニド10 おわり

善未熟急増脳
友達の作り方
こんにちは
頂作の村里真紀です
今日は未熟なペーパーを朗読してですね
全然友達のいない二人にお越し頂き
友達の作り方について討議していこうと思います
藤井アリスさん(15)
友達イナイ歴15年
ゴトウ・ボッチさん(15)
友達イナイ歴15年
どうぞよろしくお願いします
よろしくお願いします
さっそくですが
なんで友達いないんですか?
なんでって言われても…
私がクズ人間だからじゃないですか?
クズ人間からゴミ人間くらいまで昇格すれば友達ができるかもしれません
ハッハッハ
わずかに希望を持ってがんばります
無理しない!
真面目ですね
あなたは友達ですか?
私のせいじゃないよ
私の友達になる資格のある奴がいないだけ

戦闘中時間も止めらんないとかマジイミフ
マイミーターン
ハハハ
日本語でお願いします
一見このように
両極端に見える二人ですが
「好きになって欲しい」「優先されて欲しい」とりた目合に
「他人に求めるあが大き山」という共通点があります
たしかに相手の気持ちも重要なのですが…
大事は自分の気持ちを大事に
「好きな人」「好きな物」「好きな事」をどんどん増やしていくのが自尊も大切です
そうすれば自分と活動範囲が広がり
次に友達も増えていく事でしょう
お——
じゃあ村田先生は友達がいっぱいいるんですね!?

END


10巻発売おめでとうございます(*°▽°)ノ
これからも
彼女達から
目が離せません！
僕も負けないように
頑張りたいです(;ω;)
10
ARACHNID
2
"Caterpillar"作画
逢水時貞

さとうのぶひろ
フラグタイム(championタップ！連載中)

# その「蟲」は後退を知らない!!

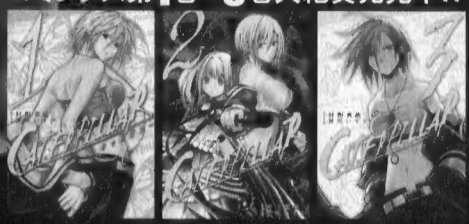
作画を担当されていた匣咲いすか先生の急逝にともない
「キャタピラー」の連載を休止しておりましたが、
読者の皆様からの連載再開を求めるご意見にお応えして
連載を再開!

キャタピラー
# CATERPILLAR

原作：村田真哉　作画：速水時貞　キャラクター原案：匣咲いすか

毎月第1・3金曜日発売
ヤングガンガン
YOUNG GANGAN
好評連載中!!

コミックス第1巻〜3巻大絶賛発売中!!



主よ……
地獄の業火に
灼かれよ。
魔女に与える鉄鎚
原作:村田真哉　作画:檜山大輔
「魔女狩り」が横行する残酷な世界…。この世界では
「魔女狩り」を一種の娯楽として楽しむ者もいた。
処刑が行われる現場に自らを"魔女"と名乗る少女・ドミノが現れ
処刑を止めようとするが…。
村田真哉と檜山大輔の新コンビが贈る
ダークファンタジーが連載開始!!
月刊 GANGAN JOKER ガンガンジョーカー
4月号
3月22日
発売号
より連載開始!!

ガンガンコミックスJOKER

GC JOKER

# アラクニド

10

2014年3月22日　初版発行

著者
原作／村田真哉
作画／いふじシンセン

© 2014 Shinya Murata
© 2014 Shinsen Ifuji

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス
〒160-8430 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア2階
【編集】TEL.03-5292-8318
【営業】TEL.03-5292-8326　FAX.03-5292-8728

印刷所
株式会社廣済堂

初出／月刊ガンガンJOKER
2013年9月号～2014年1月号掲載

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

○本書の内容の一部あるいは全部を、著作権者、出版権者等の許諾なく、転載、複写、複製、公衆送信（放送、有線放送、インターネットへのアップロード）、翻訳、翻案など行うことは、著作権法上の例外を除き、法律で禁じられています。これらの行為を行った場合、法律により刑事罰が科せられる可能性があります。また、個人、家庭内又はそれらに準ずる範囲での使用目的であっても、本書を代行業者等の第三者に依頼して、スキャン、デジタル化等複製する行為は著作権法で禁じられています。
○乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して小社出版業務部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店でご購入されたものについてはお取り替えに応じかねます。
○定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN978-4-7575-4254-9 C9979

Printed in Japan